

X/13

連絡班 日命 第一號

九月十日 〇〇〇 江戸本店

陸 軍 軍 用

一 連絡班ノ任務分擔ヲ要分ノ間別表第一ノ如ク定ム

二 連絡班ノ日課時限ヲ別表第二ノ如ク定ム

三 九月十日行動予定ハ如シ

0884

家風印書

0885

46

陸軍

一 菅井閣下ノ行動予定左ノ如シ

一 十時朝鮮ホテルニ於テストレーザ山、大佐ノ會見

乗用者一号差出 隨行者大桃參謀、兒玉副官、阿保軍曹

川端通譯

二 會見後、京城龍山驛貨物倉、兵營、一部視察、尚總督府

及日本人世話會ニ連絡、神宮參拜以上午前中ノ予定

2

一 植村參謀ハ航空関係者ヲ指揮シ、航空関係施設ノ視察

二 久米中尉ハ部下五名ヲ指揮シ、食糧、芻粟並被服(冬服特施被

服等)ノ受領、貨車三台ヲ配属、通譯、修校、東山少尉

三 竹嶋中尉ハ通信所開設準備、大田ト連絡

四 阿部少尉ハ旧軍司令部、京城師管區司令部、京城驛、龍山驛

0886

濱口橋文番本町入口等要吏連絡班所在ヲ揭示  
杉山部長 兼用者三號ヲ配属

公印

0887

五

藤 藤

通 譯 班 長	"	"	"	班 附 (航空)	副 官	" (航空)	參 謀	長	職
少 尉	伍 長	准 尉	少 尉	大 尉	中 尉	大 尉	少 佐	中 佐	少 將 官
水 城 米 光	田 中 智	飯 塚 金 三	成 富 健 一 郎	島 越 文 邦	兒 安 靜 雄	大 樂 院 利 夫	植 村 英 一	大 桃 義 治	菅 井 斌 磨 名

日本軍京城連絡班編成表

九月十日命令第一號別紙第一

昭和二十九年九月九日  
日本軍京城連絡班

陸 軍

58

0888

班附	少尉	東山茂
軍	軍	阿部義禎
通信班長	中尉	川端左一郎
通信下士官	軍曹	牛原藤太
通信員	兵長	竹嶋武男
上等兵	一等兵	田中勘一
朝本一郎、角田操、富井至	飯森宗一郎、高橋昇、佐藤幸悦	阿保豊一
小林武雄、西里盛榮、小野龍雄	宇根清俊、遠沼憲八	高橋福治

全編附録

0889

自 勤 車 班 長	中 尉	横 山 五 郎
" 班 附	渠 尉	小 島 清 兵 衛
自 勤 車 兵	上 等 兵	齋 藤 常 吉
"	"	菊 地 忠
"	一 等 兵	上 野 正 治 矢 田 勲 安 野 仁
衛 生 班 長	衛 生 軍 曹	成 木 武 郎 小 島 只 次 安 永 秀 夫
衛 生 兵	" 一 等 兵	佐 々 木 米 次 郎
"	"	石 動 部 眞 吾
傳 令 班 長	曹 長	村 上 善 輔
傳 令 負 兵	兵 長	芳 本 明
"	上 等 兵	伊 藤 武 治 宮 崎 義 章 半 田 優
"	一 等 兵	宮 本 乃 竹 本 清 大 名 宗 一

障  
車

0890

九月十日命令別紙第三

班	給興班長	傳令員	一等兵	市村春三、安藤
附	長	中尉	久未	康禧
	杉山			繁

時刻	日課時限表	時刻	行	事
〇六三〇	起床	〇六四〇	日朝點呼	
〇七〇〇	衛兵交代	〇七三〇	朝食	
〇八〇〇	入浴	〇八三〇	夕食	
〇九〇〇	衛兵立哨	二〇〇〇	日夕點呼	
二〇三〇	消燈	二〇四〇	消燈	
二〇五〇	自動車整備	二〇五〇	自動車整備	
二〇五〇	自動車班長定	二〇五〇	自動車班長定	
二〇五〇	衛兵下番者通常	二〇五〇	衛兵下番者通常	
二〇五〇	午前中就寢	二〇五〇	午前中就寢	

字跡印影

0891



連絡班日命第三號

九月十日 陸軍 江戸川本店

九月十一日行動豫定左如シ

八管井閣下

一〇九〇〇回軍管区司令部ニ於テ米軍歩兵隊七

師団長ト会谈

隨行者 將校全員 通譯全員

乗用車 四輛

一〇一〇〇朝鮮ホテルニ於テヨシツシ大佐ト会谈

隨行者 大桃参謀 児安副官 坂城 牛原 通訳

乗用車 一號

2. 植村参謀

第一項會談後末城 金村 龍山 各飛行場

並航空部隊ノ引継狀ヲ視察

隨行者 鳥越大尉 川端通訳

乗用車 一號

陸軍省 陸軍部

成富少尉の杉山伍長 通訳一兵四ヲ指揮シ  
了第ハ一頃合談後

龍山中各校ニ至リ揮發油ノ搬送

自動貨車一

ノ久末中尉ノ第ハ一頃合談後通訳一兵六

ヲ指揮シ貨物廠一旧軍司令部ニ至

リ糧秣被服搬送

自動貨車二

ノ村岡曹長ノ團ニ榮文ノ作製料  
用社ノ支拂ノ角トハ大樂尾方尉計

画指込木ノ一

本日及朝鮮日報

0893

連絡班の命令第三號

九月十一日  
陸軍省  
陸軍部

一 明(十一)日ハ六〇〇ノ某方面軍司令部官内下ニ警山駅着  
東城ヤクル其ノ行動豫定別表ノ如シ

植村參謀、連絡班宿舍ノ設営ヲ実施スルモノトス

成富少尉兵六名 乗用車一 貨車一

二 分島中尉、連絡班、於ケル通信所設備ノ計画ヲ

準備ヲ実施スルモノトス

三 阿部少尉、其間通談ヲ適シテ九〇〇ノ陸軍司令部

司令部より米軍大師団「ニール」大尉に連絡スル

（軍用車）（旧軍司令部係留車後久末中尉使用）

五久末中尉

（阿部大尉）同行の旧軍司令部司令部

（通訳）

許可証及特殊被服ヲ受領スル

六

通訳

野村喜一

渡邊武夫

紀 徹

北 岡 若 松

関野 真 吉

連絡班に於て服務ヲ命ズ

0895

十日命令第一別表

陸軍

九月十二日 日本軍司令官園下行動要旨 大根巻味

六時 〇分 大田出發

六時 〇分 靜山駅到着

六時 〇分 靜山駅到着 前後四  
靜山駅炎煙總督府向米軍側發射(シ)

六時 三十分 總督府到着 總監室ニテ休憩  
朝食 此間管井新衣及總督府

六時 三十分 付倒ヨリ米城 林泥敷道 運送  
運送

一時 三十分 会谈 時向三帯一時内

二時 〇分 本隊

十一時 〇分 十一時 〇分 園田及總督府上打合也

十二時 〇分 晝食

十三時 〇分 總督府出發

十三時 〇分 三十分 靜山出發 大田(向)

備考

一 總督府 於本休整室ニテ準備スル

二 靜山駅ニテ米軍用車四台ヲ準備スル(中)

三 一台ニ總督府ヨリ高橋車ヲ送付ス

六 行進時



二 到着已 特別列車ニ 靜山駅 構内ニ 特別レ十三時 手合 運送 準備 準備  
 三 到着 已 特別列車ニ 靜山駅 構内ニ 特別レ十三時 手合 運送 準備 準備  
 三 到着 已 特別列車ニ 靜山駅 構内ニ 特別レ十三時 手合 運送 準備 準備

0896

奉 出 発

連絡班日々命令第四號

九月十二日二  
江戸川本店



陸軍

一 明十三日午前八時ヨリ連絡班ヲ三坂ホテルニ移転ス

細部ニ関シテハ大楽院大尉指シスベシ

二 転替時ニ於ケル業務分擔左ノ如シ

全取 大楽院大尉

庶務 成富少尉

給養 久末中尉

輸送 横山中尉

三日直勤務割左ノ如シ

日次 日直將校 日直下士官

十三日 鳥越大尉 村上中尉

十四日 末久中尉 田中伍長

十五日 竹嶋中尉 杉山伍長

十六日 横山中尉 後藤中尉

十七日 成富少尉 村上中尉

0897

四三坂ホテルニ於ケル給養十三日夕食ヨリ実施スルモノ

トス

五業務分担表中左ノ如ク訂正ス

所属部隊不明將兵掛

鳥越大尉

(兼務)

小島准尉

”

杉山伍長

六米国歩兵第七師団ノ証明腕章ヲ各人ニ母ニ交付ス

(昭和十五・九・六平紙稿)

0898

姓名 命令兼 連絡部員々命令第五號 九月十五日二一〇〇 三坂ホタル (護)	職名 命令兼	軍令官			神護 發令
		部長	副部長	參謀長	
副官部 連絡部員々 松本ヒサ子 廿	參謀部 八拾五圓 德和子 十九	參謀部 九拾五圓 小牧福子 十八	當分ノ烟確簿ス頭書ノ部、於テ服務スベシ	主任 連帶責任者 同覽者 淨書	號番 起業昭和 年 月 日 發送昭和 年 月 日

XF6



0899



明十六日ハ三〇  
分發ニ付削除  
ス(天覽)

ニ久末中尉成富少尉ハ安本名ヲ指揮シ明十六日ハ三〇分  
リ本十五日ニ列續キ貨物廠其、他ヨリ被服糧秣等ヲ  
搬送スベシ自動貨車二輛配屈ス

手集越太尉收容者中ヨリ兵士名ヲ明十六日ハ三〇分  
ヨリ三坂林ヲ止ル前ニ差出シ入本中尉ヲ指揮ス安本  
ハ本

三九月十日々命別紙第三欄中會報時ヲ一八三〇ニ訂正ス

0900



命令集

連絡部日々命令第六號

九月十六日一八三〇  
三坂ホテール



久末中尉、兵十五名ヲ指揮シ、明十七日〇八一〇ヨリ陸軍偵

物廠水色出張所ニ到リ糧秣ヲ搬送スベシ

自動車三輛ヲ配屬ス

二鳥越大尉、收容者中ヨリ兵十名ヲ十七日〇八一〇ニ

ホテール前ニ差出シ、久末中尉ヲ指揮スベシ

三連絡部幹部編成表別紙ノ如シ

陸軍

0901



給



通

運

京城(好深社)

0902



會報集

九月十六日一八三

陸軍

連絡部長官閣下ニ直屬田隊長ニ對スル敬禮

ヲ行フコト

ニ居室外ノ清潔整頓ヲ十分ニ行フコト


0903

亨城 (新撰稿)

0904

別官  
 嘉  
 死  
 2

命令 集  
 連絡班日々命令第七號

九月十七日一八三〇  
 三坂ホテル  


左ノ通リ日直勤務ニ服務スベシ

日次 日直將校 日直下士官

十八日 小島准尉 田中軍曹

十九日 牟田大尉 益田伍長

二十日 飯塚准尉 阿條軍曹

〇二十一日 東山少尉 田中伍長

〇二十二日 阿部少尉 杉山伍長

二十三日 岡崎准尉 後藤曹長

二十四日 鳥越大尉 田中軍曹

鳥越大尉ハ收容者中ヨリ兵十名ヲ常時連絡班本部ニ差出シ得ル

服務シ

藤本宛準備ス  
 山本

陸軍

0905

如ク準備スルヘシ

四月十八日 朝殿付後連絡部全員(勤務者ヲ除ク)ニ対シ

会前ニ於テ長官訓示ヲ行ハル依テ同時ニ命令

スルベシ(別ニ示ス) 各通(通信) 自(自) 無(無) 煙(煙) 日(日) 為(為)

京城(新設)

0906

會報界

九月十七日

（印）

陸軍

一長官訓示各人一部宛配布ス（明朝兵時携行）

二將校及各掛長ニ對スル會報別紙ヲ回覽ス

三明十八日自朝點時後會前ニ於テ長官訓示ヲ行ハシ

三 車自動車ノ使用ハ努メテ前日申出テ已ハラ得ズ速急ニ必要ナ

ル場合ニ於テモ豫メ自動車班長ニ通報シ人員ノ積合せヲ

行ヒ

又ハ先方要件ニ約時間以上ヲ要スル場合ニ時解豫セシ

ムル等圓滑ナル運行ヲ得シ得ル如ク協力セラレ度

到着員人員等

四 大田、水原等ヨリ將矢招致ノ處置ヲ爲シタル場合ハ豫メ副官

出發ノ場合モ亦同シ

（印）

2

別席ノ

（印）

（印）



室 大衆院大尉ノ許ニ通報セラルレ度

五各業務班長ノ 當日 実施セル行事ノ大要ノ要

(ニセロロ迄ニ以着スル如ク)

日ノ行事豫定トラ 副官部事務室ニ提出セラルレ度

(鉛筆書ニテ可)

京紙(附録)

0908

(5)

7

原  
 飯塚  
 参  
 召  
 通  
 通  
 通  
 自  
 小  
 給  
 兵  
 神  
 經  
 正  
 志

明十九日、大田に出發スベシ

少尉 倉益道 伍長 戸根正志

連絡部日々命令第ハ號

命令第

九月十八日ハ三  
三坂ホテ  
陸軍

陸軍

0909

山城 (近源村)

0910

明日行事

久末中尉

一、ボイラー室ノ清潔 兵四 飯塚准尉

飯塚准尉

二、久末中尉ハ糧秣被服等ノ搬送 兵十名 貨車二輛  
三、残餘ノ当番女ハ敷布及蒲団覆ノ洗濯約二〇枚

久末中尉

圓給

一、久末中尉ハ事務用消耗品 紙類、~~ヤシ~~スタンプ台、同インク

原紙、~~黒鉛筆~~トウ寫用インク

黒鉛筆、~~筆~~

後藤大尉

二、砲班室ノ廢又件ト長謀

0911

又小倉

ストリーザ  
日本人形ラビ  
ラビ

0912

陸軍

別

起案用紙

指定	發輪	京監	發輪	年	月	日	發輪	年	月	日	陸軍
	番號	第									
長官	[Signature]		科所長	總務課	[Signature]		掛任	席任	[Seal]		發輪者
受輪者	[Signature]		[Signature]		[Seal]		[Seal]		[Seal]		
件名	連絡部日々命令案										
發輪者	中島文雄										
發輪者	關野真吉										
發輪者	加藤孝										
發輪者	九月十九日ハ三〇										

0913

陸軍囑託ヲ命ス

朝鮮軍管區司令部幕僚連絡部勤務ヲ命ス

月手當金四百圓 支給ス (九月七日附)

ニ 月額六拾圓 山本 明

給仕トシテ雇傭ス (九月十七日附)

庶政  
參  
議  
田  
召  
應  
信  
通  
譯  
自  
拾  
日  
兵  
神  
日  
經  
医  
業

0914

46 (本)

會報 第...

連絡部日々命令第...

九月二十日 一八三〇  
三坂ホテル

宇城一太田電兵衛通信小幡轉現

二 艦之通信者直接の語ノ要及少キモノ

及等之電報ニ依リ之ノ基ヲ 惣多ク有像電報

ヲ初申セ之及 目下有好電報ノ投ラテ用散

十

參謀會同ニ於ケル軍司令官閣下ノ注意事項拔萃兼連絡

部長官内務上ノ注意今配付セルニ付將矢ニ十分徹底セシメ

陸軍

(納給官・版大)

0100

0915



ラレ度

三、拳銃所持者、明二十一日、九〇〇副官室大樂院大尉、許

ニ提出ノコト



120  
150

0100

0916

總務部長官

内務上ノ注意

昭二〇、九、二〇

陸軍

一、

許ノ各々私用ヲ辨ルルカハトアリテナラヌ

殊ニ物品ノ持出シ、自動車ト私用ニ使フト

特ニ事情ノ自宅、縁故等アリ者ノ種々便宜

ヲ圖ラシメ給申込ランナラシムル事

此ノ如キ事トスルニモハルカハ前記ニ準ジテ

二、

軍司ノ人々ノ私用ニ際シテ

注意申渡底セシメヨ

行方ニ必要アリ

0917

參謀會同ニ於ケル軍司令官閣下ノ注意事項拔萃

九二〇

陸軍

一、刀劍ハ個人ニ於テハ絶對抜カザルコト部隊ニ於テハ正當防衛乃至自衛  
ノ為ニハ任務上之ガ使用トシムヲ得ガレモ個人ノ場合ニ於ケル使用ハ絶對  
遊クルコト

二、糧食ハ正當ナル手續ヲクシテハ一切沒收徵發等ヲ許サズ

無思慮ナル兵ノ行動ガ全軍ニ及ボス影響ノ甚大ナルヲ徹底セシムト共ニ  
指導監督ヲ怠ラザルヲ要ス

三、糧食ノ保有量ハ毎旬(五日毎)末調査ヲ機ヲ失ヒズ報告スルコト

現保有糧秣ヲ以テ十二月中旬迄食ヒ伸ベシスル如ク努カスルコト  
四、朝鮮人ニ對スル心構

大國民ノ態度ヲ以テ臨ミ朝鮮人ノ今後ノ福祉ヲ圖ルノ心構ヘラ  
必要トス

0918

連絡部長官内務上ノ注意

昭和三年九月二日

陸軍

一 許可ナク私用ヲ辨スルカ如キコトアツテハナラス

殊ニ物品持出シ自動車ヲ私用ニ使フコト特ニ京城ニ

自宅縁故等アル者ハ種々便宜ヲ圖ラレ度旨申込

マルハナラ~~ズ~~モ無断ニテ此ノ如キコトスルモハ嚴重ニ處分

セラル

二 參謀會議ノ際ニ於ケル軍司令官ノ注意中將兵ニ

必要ナル事項徹底セシメヨ

0919



命 令 案

連絡部日々命令 第十號

左通 勤務 服務スベシ

日次 日直將校 日直下士官

二十五日

二十六日

二十七日

二十八日

二十九日

三十日

~~小島准尉~~

山下中尉

秋葉中尉

~~中尉~~

野村中尉

内田大尉

竹嶋中尉

横山中尉

~~中尉~~

安永軍曹

益田伍長

阿保軍曹

村上曹長

後藤曹長

山中軍曹

阿保軍曹

九月二十三日 三坂ホテ

陸 軍

0920

様式



會報

九月二十三日

陸軍

左記様式ニ依リ二十四日一九〇〇ニ於ケル現況ヲ二十五日

一二〇〇迄ニ筆記報告ノコト

左記

金錢、糧秣(含燃料)、被服、針錢、自動車用燃料

事務用消耗品

糧秣 月使用量

品目、保有量、最近一箇月内於將來取得見込量、摘要

精米

0921

二、日本軍連絡部編成人員表（九月二十二日現在調）ヲ下士官以上  
部宛配布ス

三、日直勅諭録ヲ作成毎日及後藤大尉（大桃）

（其ノ上）檢ヲ受クルモノトス  
ヲ指導ス

着眼ツ定メ徹底的ニ之ヲ実行（其ノ上）ヲ要ス

注意

↓「異化ナレ特記事項ナレ」等ノ報告ハ着眼ニ任（任）行

ノ不良不徹底ニ甚クモノナラバ此ノ如キ抽象的

報告ヲナサバム


京城（新澤）

0922

陸軍部  
 参  
 召  
 通信  
 通譯  
 の  
 自  
 給  
 兵  
 經  
 医

二十 六日	日直 將校	野村 中尉
二十 五日	日直 下士官	益田 伍長

一 左ノ通り半週勤務  
 連絡部日々命令第十號

九月二十三日  
 三坂ホテル  




0923  
 0924



連絡部日々命令第十號  
 一左通り半週勤務シ

九月二十三日  
 三坂ホテル



二十三日	二十三日	二十三日	二十三日	二十三日	日次
日	日	日	日	日	日直將校
竹嶋中尉	野村中尉	益田伍長	阿保軍曹	日直下士官	

吟

0923  
 0924

會報

九月二十三日

一 左記様式ニ依リ二十四日一九〇〇ニ於ケル現況ヲ二十五日  
 一二〇〇迄ニ筆記報告コト

左記

金錢糧秣(含燃料)被服 自動車用燃料 事務用  
 消耗品  
 様式 糧秣

精米	品名	保有量	最近一週間 於 ケル 使用量	使用量	將來取得 見込量	摘要

二 日本軍連絡部編成人員表(九月二十日現在調)ヲ下士官以上一部宛  
 配布ス

三 日直勤務録ヲ作成毎日大桃參謀及後藤大尉、吳檢ヲ受ケルモ  
 ノトス  
 着眼ヲ定メ徹底的ニ之ガ實行ヲ指導スルヲ要ス

注意

「異狀」ナシ特記事項ナシ等ノ報告ハ着眼並任務遂行ノ不良不  
 徹底ニ基クモナルヲ以テ此ノ如キ抽象的報告ヲナサルコト

陸	陸	副官	少謀	陸	陸
---	---	----	----	---	---

日々命令



九月二十五日

陸軍

陸軍少佐

田房吉

陸軍少尉

竹下峯三

陸軍少尉

田中智

陸軍少尉

中村忠夫

大田軍司令部ニ復歸シ命令ス

夜初明ニテ十六日朝食後汽車行ニテ大田ニ出カス

スベシ

庶務  
参  
召  
通信  
通譯  
自  
給  
警  
監

0926

長官

112



副官



收

會報



九月二十五日

陸軍

一、爾今左記事項ヲ嚴守スベシ

左記

1、私室ニ子供、地方人等ヲ入レサレコト

2、面會ハ極力、接室ヲ利用スルコト

尚私室ニ於テ事務等ヲナシル者ハ直接大抵

參謀ニ其旨申出スベシ

二、朝鮮銀行員合宿所内入浴場ヲ協定ノ上、刻

紙ノ通り使用スルコトニ定メラル

依而之が使用日、時間ヲ努メテ嚴守スル事、地方人

宅ヲ訪レ入浴スルヲ極力避テラレ度

三、將校等事務令担表下士官以上ニ配布ス

0927

四、本千五百ヨリ連絡部部員タルトヲ明瞭トシハ  
 ルタメ 将校(但し尉官以下)以下氏名札ヲ  
 上衣右胸部ニ縫着スルニ定ムル  
 依而以散中セラル度

庶務  
 通信  
 通譯  
 給  
 兵  
 經  
 醫

京城 (新澤紀)

0928

九月二十三日會報別紙

入浴日並時間割表



備考 一 鮮銀入浴日ニ使用出散券ヲ 二 入浴時間ヲ散券アリ度	28	25	22	19	16	13	10	7	4	1	連終部使用日
	29	26	23	20	17	14	11	8	5	2	鮮銀使用日
	30	27	24	21	18	15	12	9	6	3	使用時間

0929

京城連絡部將校業務分担表

昭二〇九・二四

長	附	業	務
後藤大尉	助手 飯塚准尉	一 庶務 二 内務ニ関スル事項 三 人事(雇傭人ヲ含ム)ニ関スル事項 四 日々命令ニ関スル事項 五 勤務割出 六 宿舎・配宿ニ関スル事項	
兎安中尉		一 専屬副官 二 接待ニ関スル事項	
横山中尉	助手 小島准尉	一 自動車整備 二 自働車用燃料ニ関スル事項 三 配車ニ関スル事項 四 操縦手班長	
大樂院大尉	助手 久末中尉 村上曹長 後藤曹長	一 給與ニ関スル事項 二 採賤用燃料ニ関スル事項 三 需品事項 四 營繕ニ関スル事項 五 金銭ニ関スル事項 六 宿舎取得ニ関スル事項	
牟田大尉	助手 益田伍長	一 參謀室庶務 二 發來翰ニ関スル事項	
内田大尉	竹嶋中尉 助手 田中曹長 阿保軍曹	通信連絡ニ関スル事項	
村津中尉	通譯將校全員 囑託	通譯ニ関スル事項	
鳥越大尉	秋宗中尉 成富少尉 助平四郎准尉 安永軍曹 杉山伍長	受付並ニ召集解除者ニ関スル一切事項	
野村中尉	竹下少尉	米軍ト連絡	
兵器部	小岩井大尉	兵器ニ関スル事項	
經理部	有馬少佐 花田少佐	一 衣糧ニ関スル事項 二 營繕ニ関スル事項	
軍醫部	関野中佐	一 軍醫事務處置ニ関スル事項 二 患者診療ニ関スル事項	
備考	一 右表如ク定ムルモ相互援助スルモトス 二 兼務ヲ示ス		

0930

主任		副官	参謀	長官
----	--	----	----	----

日日命令



九月二十六日

陸軍

陸軍軍曹

野口定行

幹部候補生

若山英雄

陸軍一兵

大場穰藏

同

佐藤自治男

大田軍司令部へ復帰し合ふ

依而本二十七日朝食後汽車行ニテ出発スベシ

庶飯塚

参

通信



通譯



自

爲

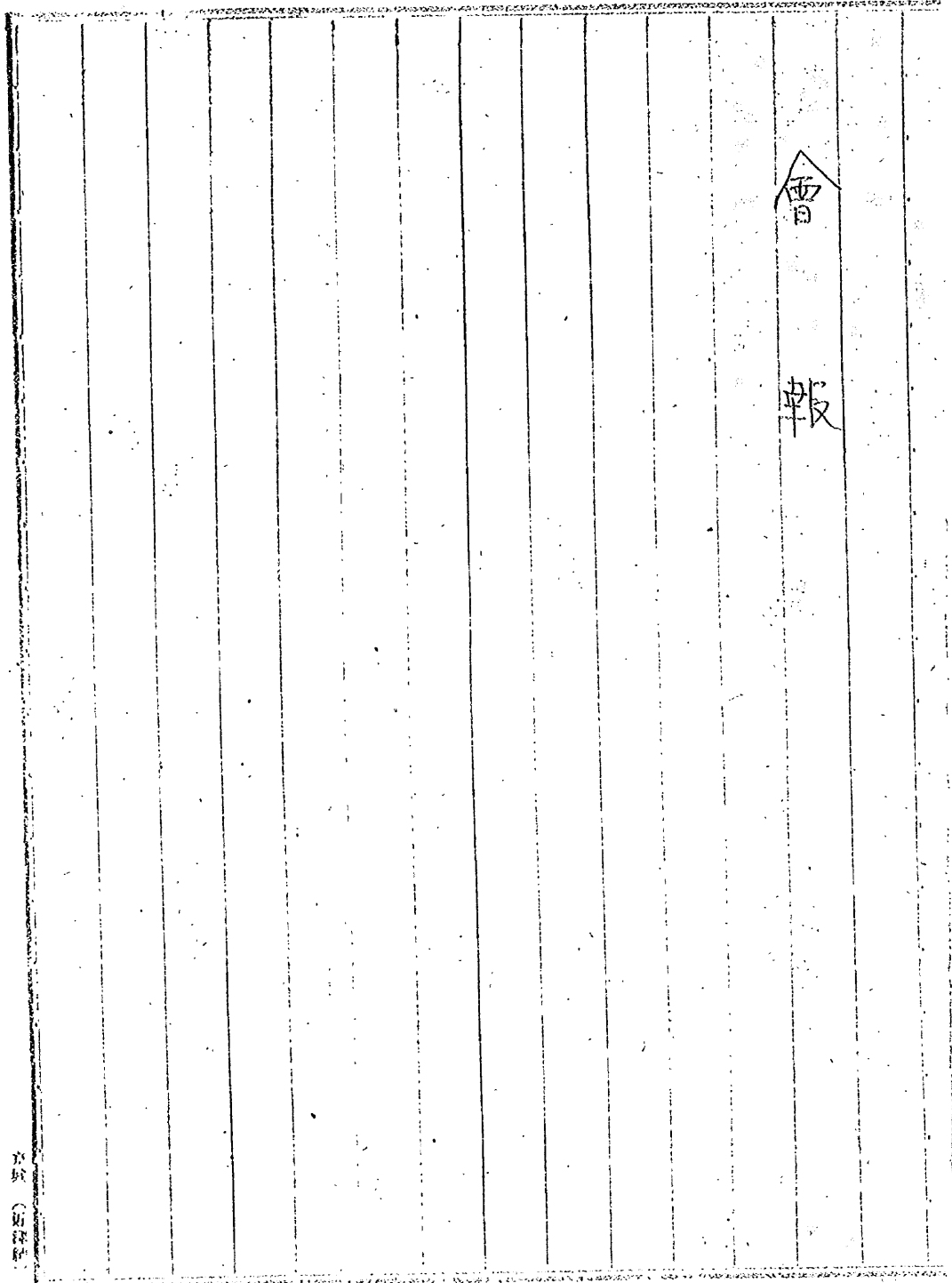
給

有



0931





0932

長官

會

報

九月二十七日

一、連絡部・医務室 診断時間ヲ左ノ通り定ム

午前

自九時

至十時

午後

自十三時

至十四時

注意 極々輕微ナル傷病、外直接医務室

下士官ニ投薬治療ヲ要求セザルコト

庶務
秘書
召
通信
通譯
給
...
...
...
...

0933